

世界遺産登録5周年記念！

6/6 (土)

公開講座

## 海と縄文人

海から北黄金貝塚を見つけ眺める  
(噴火湾から伊達市北黄金貝塚を探しています。)🕒 開催時間  
13:30~14:40

## 講座概要

縄文文化の生活は、海と森の豊かな資源をもとに成り立ちました。寒冷な旧石器時代の気候から、次第に温暖化するにもなって、海がどのように変化したのか、それによって人々の行動はどのように変わり、縄文時代へと移っていったのでしょうか。

「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界遺産に登録されて、今年の7月で5周年を迎えます。北海道内の登録資産のほとんどは、海岸沿いに立地しています。今回は、遺跡に生活した人々と海との関係を探ってみたいと思います。

海からの視点で見ると、より深く遺跡の内容がわかるのではないのでしょうか。



講師：越田 賢一郎(こしだ けんいちろう)  
(札幌国際大学縄文世界遺産研究室室長)

元本学人文学部現代文化学学科教授。  
「北海道・北東北の縄文遺跡群」を世界遺産への登録に尽力。  
現在も、遺産の魅力発信に余念なく活動を継続。

👉 講座の後にオススメ ワークショップ！

🕒 開催時間  
15:00~16:30

先着20名！

勾玉づくり  
ワークショップ

縄文時代から作られていたアクセサリー

「勾玉」を作ってみませんか？

今回は、紙やすりで削れるほど柔らかくて加工しやすい滑石(かつせき)という石を使います。石を削る過程で白い粉がたくさん出るので、汚れてもいい服装\*でご参加ください。

また、製作には個人差がありますが、1~1時間半ほどかかります。\*汚れてもいい服装：古いトレーナーやエプロンなど。

参加対象 講座：一般の方(高校生以上の方)  
ワークショップ：一般の方(年齢は問いません。  
石磨きは地道ですが、楽しみたい方、ぜひどうぞ！)

開講場所：本学教室(講座：対面形式)

◆公開講座もワークショップも参加は無料！

👤 講座「海と縄文人」：定員50名

👤 勾玉づくりワークショップ：先着20名

講師：渡井 瞳(わたい ひとみ)  
(札幌国際大学縄文世界遺産研究室学芸事務員)

本学大学院観光学研究科修士修了生(2024年9月)。  
考古学×観光の2分野横断の目線を持つ、本学縄文世界遺産研究室の学芸事務員です。



6月3日(水)13時まで  
QRコードからお申込みできます。

◎受講には事前のお申込みが必要です。  
URL、またはQRコードへアクセスしてください。  
(ワークショップは材料数に限りがあるため先着順となります。)  
<https://forms.cloud.microsoft/r/1yKu00Adka>  
お申込み締切日：6月3日(水)13時まで